

会 議 録

会議の名称	令和6年度 第1回鴻巣市シティプロモーション推進懇話会
開催日	令和6年8月28日（水）
開催時間	午後14時00分 開会 ・ 午後16時00分 閉会
開催場所	鴻巣市にぎわい交流館 2階多目的室
出席者（委員）氏名 （出席者数）	齊藤 哲也（アドバイザー） 長谷 英里子 澤田 稔行 久保 泰枝 伊藤 恵 真鍋 透 小野 賢俊 天野 雄大 池永 可成江 竹下 和男 永久 健三 （11名）
欠席者(委員)氏名 （欠席者数）	亀谷 礼子 堀越 延年 斎藤 徹（3名）
事務局職員職氏名	市長政策室長 藤崎 秀也 総合政策課長 富田 真久 総合政策課主査 小林 裕 総合政策課主事補 吉野 紅音
傍聴者の可否(傍聴者数)	可（0名）
会 議 次 第	1 開 会 2 あいさつ 3 自己紹介 4 意見交換 （1）シティプロモーションの推進における成果指標と達成状況について （2）令和6年度シティプロモーション推進事業の進捗状況について 5 その他 6 閉 会

会議の内容	(1) アドバイザー資料「シティプロモーションは進んだか？」 ・市資料の各指標の推移からは、シティプロモーションの推進は図られている。 ・人口戦略会議のレポートでは、若年女性人口変化率が前回比較で向上している。 ・埼玉県の地元愛着度は例年ほぼ全国最下位となっている。推進方針には、20 歳代の転出超過を示すグラフが掲載されており、その中で育っていく子どもたちにどう愛着を持ってもらえるか、どうしたら鴻巣市に戻ってくれるかが課題である。 (2) 成果指標と達成状況について ・修正地域参画総量（mGAP）は、どの自治体も低い値となる傾向であり、値を見てもわかりづらい ・鴻巣市は限られた予算の中でシティプロモーションの推進を図ることとしていることが特徴であり、関係課との連携が重要である ・本日は商工会及び観光協会が欠席で、関係者の熱量を共有するためにも代理の参加を求めるべきである (3) シティプロモーション推進事業の進捗状況について ・鴻巣市における「シティプロモーション」とは何か、市民の方が共通のイメージを持てると良いのではないかな。 ・鴻巣市の取組の中では、市民参加の「NOSU・LAB」は重要であり、現状と課題を分析した方が良い。 ・鴻巣駅への「意見箱」の設置についてアドバイザーから相談があり、設置に向けて商工会等と調整中である。寄せられた意見をどう取り扱うかスキームが重要と考えている。 ・発信したいと思う市民が、市のオリジナリティに気づける視点を与えることが大切である。 ・各指標について、世代などターゲットを狭めても良いのではないかな。 ・市民自体の主体性が必要である。そのため、リーダー候補を集め、波及させていくための取組が必要である。 ・空き店舗の活用もにぎわい創出の観点から重要と考えている。 ・「シティプロモーション」という言葉では伝わりづらい。「街を知って、好きになる」というようなわかりやすい表現の方が良いのではないかな。 ・特定の世代のアンケート結果をKPIにするなど、連動するKPIがあっても良いのではないかな。
配布資料	・令和6年度 第1回鴻巣市シティプロモーション推進懇話会次第 ・令和6年度 鴻巣市シティプロモーション推進懇話会委員名簿 ・資料1 鴻巣市シティプロモーション推進懇話会設置要綱 ・資料2 シティプロモーションの推進における成果指標と達成状況について ・資料3 令和6年度シティプロモーション推進事業の進捗状況について ・IKOKAインスタグラムフォトコンテストパンフレット2024（チラシ） ・こうのすL I F E（リーフレット） ・こうのす通信（チラシ）